

自己評価表 (2才児)

ねらい…「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前 ()	自己評価	
No.	内 容		9月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		◎	◎
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		◎	◎
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		◎	◎
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育している。		◎	◎
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		◎	◎
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		◎	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	◎	◎
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	◎	◎
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	◎	◎
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことばを用いないようにしている。	◎	◎
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	◎	◎
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	◎	◎
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		◎	◎
9	「かかわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	◎	◎
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	◎	◎
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	◎	◎
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	◎	◎
10	A 子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力)		◎	◎
		B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	◎	◎
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、囁託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		◎	◎
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎	◎
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	◎	◎
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	◎	◎
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	◎	◎
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	◎	◎
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携のあり方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	◎	◎
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じ等、子育て支援ができる。	◎	◎
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	◎	◎
目標	一人一人の子どもと応答的に関わりながら信頼関係を深めていく。		所長印 若木 育子 所長印 若木 育子	
自己評価	時間に余裕を持って保育をしていくことで一人一人の子どもたちと関わる時間を作れるようになった。			

記入方法 (◎とても良い、○良い、△配慮しましょう)

自己評価表 (3才児)

ねらい……「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前	自己評価	
No.	内容		9月	3月
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が来ている。		○	○
2	指導計画の作成にあたっては、子どもの発達過程を踏まえ、生活の連続性、季節の変化等を考慮し、子どもの実態に即した具体的ねらい及び内容を設定している。		○	○
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	○
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊べるよう配慮している。		○	○
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		○	○
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		○	○
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	○
		B 温かい言葉遣いで、穏やかに話している。	△	○
		C 自分の思いを表現する力が十分でない子どもの、気持ちを汲み取っている。	○	○
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことは用いないようにしている。	△	△
		E 「できない」「やめて」など言ってくる子どもに対して、子どもの状況に応じて対応している。	○	○
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	○
8	全体に気を配りつつ、特に遊びに入れない子どもへの働きかけをしている。		○	○
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A 子ども同士の関係をより良くする様な、言葉かけをしている。	○	○
		B 喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している。	○	○
		C 年齢に応じた、社会的ルールを身につけるよう配慮している。	○	○
		D 子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場を設定している。	○	○
10	A 保育士自身が楽しんで保育をしている。(楽しそうな表情ができる)		○	○
		B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		○	○
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○	○
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが来ている。	○	○
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	△	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	○	○
13	地域との連携の在り方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、幼稚園、子育て支援室など)	△	△
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	△	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	毎日、一人ひとり関わる時間をとれるように掛ける。個々に合った援助をしていく。		所長印	
自己評価	目標をバ掛けていけるが、どうしても月に余裕がない時はゆとり関わることにできない日もあった。			

記入方法 (◎とても良い、○良い、△配慮しましょう)

自己評価表 (5才児)

ねらい…「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前()	自己評価	
No.	内容		9月	3月
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が来ている。		○	○
2	指導計画の作成にあたっては、子どもの発達過程を踏まえ、生活の連続性、季節の変化等を考慮し、子どもの実態に即した具体的ねらい及び内容を設定している。		◎	◎
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	○
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊べるよう配慮している。		○	○
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		◎	◎
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		○	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	○
		B 温かい言葉遣いで、穏やかに話している。	○	○
		C 自分の思いを表現する力が十分でない子どもの、気持ちを汲み取っている。	○	○
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことはを用いないようにしている。	○	○
		E 「できない」「やって」など言ってくる子どもに対して、子どもの状況に応じて対応している。	○	○
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	○
8	全体に気を配りつつ、特に遊びに入れない子どもへの働きかけをしている。		○	○
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A 子ども同士の関係をより良くする様な、言葉かけをしている。	○	◎
		B 喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している。	○	◎
		C 年齢に応じた、社会的ルールを身につけるよう配慮している。	◎	○
		D 子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場を設定している。	◎	◎
10	A 保育士自身が楽しんで保育をしている。(楽しそうな表情ができる)		◎	◎
		B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		○	○
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○	◎
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが来ている。	○	◎
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	◎	◎
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	◎	◎
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	◎	◎
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携の在り方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、幼稚園、子育て支援室など)	○	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	◎	◎
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	◎
目標	自主的にあそび始める姿を大切に、又、気持ちによりそいながら、一人ひとりが十分に思いを込めてあそべるよう、見守っていく。		所長印	保育所長印
自己評価	就学に向けて、自分なりに目標に向かって考えたり、工夫し行動できるようなことはとかけたり、援助をすること。子どもたちも大きく成長できている。			

記入方法 (◎とても良い、○良い、△配慮しましょう)

自己評価表 (0才児)

ねらい…「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前	自己評価	
No.	内 容		9月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		◎	◎
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		◎	◎
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	○
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育をしている。		○	◎
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		◎	◎
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		◎	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	◎	◎
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	◎	◎
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○	◎
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことはばを用いないようにしている。	○	◎
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○	◎
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	◎	◎
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		◎	◎
9	「かわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	◎	◎
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	◎	◎
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○	○
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	○	○
10	A 子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力) B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)		◎	◎
			○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		◎	◎
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎	◎
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	◎	◎
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	◎	◎
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携のあり方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	○	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	◎
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	◎
目標	自分でやりたい気持ちをもつに働きかけ、食べる、着るなどの自立性を育み、生きる力の土台をしっかりと築いていく。		所長印 若木 保育所長	
自己評価	日々の声かけやスキンシップ等で愛着関係をしっかりと築いていき、自分で…のやる気、自分でできた達成感や満足感を高めることで次への意欲へとつなげていくことができた。		若木 保育所長	

記入方法 (◎とても良い、 ○良い、 △配慮しましょう)

自己評価表 (47 児)

ねらい……「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前	自己評価	
No.	内容		9月	3月
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が来ている。		○	○
2	指導計画の作成にあたっては、子どもの発達過程を踏まえ、生活の連続性、季節の変化等を考慮し、子どもの実態に即した具体的ねらい及び内容を設定している。		◎	◎
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		◎	◎
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊べるよう配慮している。		◎	◎
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		◎	◎
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		◎	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	◎	◎
		B 温かい言葉遣いで、穏やかに話している。	◎	◎
		C 自分の思いを表現する力が十分でない子どもの、気持ちを汲み取っている。	◎	◎
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことは用いないようにしている。	○	○
		E 「できない」「やめて」など言ってくる子どもに対して、子どもの状況に応じて対応している。	◎	◎
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	◎	◎
8	全体に気を配りつつ、特に遊びに入れない子どもへの働きかけをしている。		◎	◎
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A 子ども同士の関係をより良くする様な、言葉かけをしている。	○	◎
		B 喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している。	◎	○
		C 年齢に応じた、社会的ルールを身につけるよう配慮している。	◎	◎
		D 子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場を設定している。	◎	◎
10	A 保育士自身が楽しんで保育をしている。(楽しそうな表情ができる)		◎	◎
		B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		◎	◎
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎	◎
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが来ている。	◎	◎
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	◎	◎
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	◎	◎
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	◎	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携の在り方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、幼稚園、子育て支援室など)	○	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	・安全な環境をつくり、快適な生活が送れるようにする。 ・友だちと楽しく生活する中でぎまりの大切さを教える。		 所長印  副所長印	
自己評価	もう少し環境構成に気をつけるべきだったと思う。ぎまりの大切さを教える事はしっかりと伝えられたと思う。		記入方法 (◎とても良い、○良い、△配慮しよう)	

自己評価表 (未満児)

ねらい…「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前()	自己評価	
No.	内 容		9月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		○	◎
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		○	○
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	○
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育している。		○	○
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		○	○
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		○	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	◎
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	○	◎
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○	○
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことはばを用いないようにしている。	○	○
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○	○
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	◎
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		○	○
9	「かかわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	○	○
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	○	○
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○	◎
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	○	○
10	A 子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力)		○	◎
		B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	○	◎
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		○	◎
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○	◎
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○	○
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	○	○
13	地域との連携のあり方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	△	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	安心して過ごせる環境づくりができる。		若木 育園長 若木 保育園長	
自己評価	一人一人個性・特長を把握しながら、その場に合った行動、関わりができたと考える。			

記入方法 (◎とても良い、 ○良い、 △配慮しましょう)

自己評価表 (未就児)

ねらい…「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前	自己評価	
No.	内 容		9月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		○	○
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		○	○
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	○
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育をしている。		○	○
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		○	○
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		○	○
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	○
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	○	○
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○	○
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことばを用いないようにしている。	○	○
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○	○
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	○
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		○	○
9	「かわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	○	○
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	○	○
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○	○
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	○	○
10	A 子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力) B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)		○	○
			○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、囁託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		○	○
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○	○
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○	○
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	○	○
13	地域との連携のあり方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	○	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	個々の成長に合わせて笑顔で対応する		若木保 育園長 若木保 育園長	
自己評価	優しく言葉かけして、個々に合わせて食事や遊びなど対応した			

記入方法 (◎とても良い、○良い、△配慮しましょう)

自己評価表 (以上見)

ねらい……「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前	自己評価	
No.	内容		9月	3月
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が来ている。		○	○
2	指導計画の作成にあたっては、子どもの発達過程を踏まえ、生活の連続性、季節の変化等を考慮し、子どもの実態に即した具体的ねらい及び内容を設定している。		○	○
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	○
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊べるよう配慮している。		○	○
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		○	○
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		○	○
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	◎	◎
		B 温かい言葉遣いで、穏やかに話している。	◎	◎
		C 自分の思いを表現する力が十分でない子どもの、気持ちを汲み取っている。	○	○
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことは用いないようにしている。	○	○
		E 「できない」「やって」など言う子どもに対して、子どもの状況に応じて対応している。	◎	◎
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	○
8	全体に気を配りつつ、特に遊びに入れない子どもへの働きかけをしている。		○	○
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A 子ども同士の関係をより良くする様な、言葉かけをしている。	○	◎
		B 喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している。	◎	◎
		C 年齢に応じた、社会的ルールを身につけるよう配慮している。	○	○
		D 子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場を設定している。	○	◎
10	A 保育士自身が楽しんで保育をしている。(楽しそうな表情ができる)		◎	◎
		B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		○	○
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎	◎
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが来ている。	◎	◎
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	△	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携の在り方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、幼稚園、子育て支援室など)	○	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	クラス担任へ報告・連絡・相談を徹底する。 登園や降園時に積極的にコミュニケーションを図る。		所長印	若木 保育園長
自己評価	欠席、お迎え等の連絡を伝え忘れることもあったので、今後は忘れないよう気掛けていく。 子どもの様子を見ながら成長を感じたことなどを保護者に伝えるようにした。		若木 保育園長	若木 保育園長

記入方法 (◎とても良い、○良い、△配慮しましょう)

自己評価表 (の 児)

ねらい・・・「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前()	自己評価	
No.	内 容		9月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		○	◎
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		◎	◎
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	○
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育をしている。		○	◎
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		○	○
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		◎	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	○
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	◎	◎
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○	○
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことばを用いないようにしている。	○	○
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○	◎
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	○
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		○	○
9	「かわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	○	○
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	◎	◎
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○	○
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	○	○
10	A 子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力) B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)		○	◎
			○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		○	○
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○	○
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○	○
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	△	△
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携のあり方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	△	△
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	△	△
目標	仕事内容を覚え、自ら考え行動できるようにしていきたい。一人ひとりの子どもとしっかり関わり個々に合った支援をしていきたい。	所長印	若木保 育園長	若木保 育園長
自己評価	一年間を通じて様々な行事なども経験してもらったので、今後の保育に生かしていきたいと思いた。			

記入方法 (◎とても良い、 ○良い、 △配慮しましょう)

自己評価表 (未満児)

ねらい...「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

若木 保育所		名前() 美	自己評価	
No.	内 容		9月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		○	◎
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		○	◎
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		△	△
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育している。		○	○
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		○	◎
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		○	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	○
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	○	○
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	◎	○
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことばを用いないようにしている。	○	○
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○	○
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	○
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		○	○
9	「かかわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	○	○
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	○	○
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○	○
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	○	○
10	A 子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力)		◎	◎
		B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		◎	◎
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○	○
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○	○
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携のあり方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	△	△
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	△	△
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	△	△
目標	子ども達と笑顔で接し、信頼関係を築く。 病気やケガ、体調不良児の対応、必要時は情報提供を行う。		若木 保育所 所長印 若木 保育所 園長印	
自己評価	子ども達が「わが家」の時、お母さんやお父さんやいた。毎日、楽しい子ども達と過ごしている。			

記入方法 (◎とても良い、 ○良い、 △配慮しましょう)

自己評価表（以上児）

ねらい……「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

若木 保育所		名前	自己評価	
No.	内容		9月	3月
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が来ている。		◎	◎
2	指導計画の作成にあたっては、子どもの発達過程を踏まえ、生活の連続性、季節の変化等を考慮し、子どもの実態に即した具体的ねらい及び内容を設定している。		○	○
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	○
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊べるよう配慮している。		◎	◎
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		◎	◎
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		◎	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	◎	◎
		B 温かい言葉遣いで、穏やかに話している。	◎	◎
		C 自分の思いを表現する力が十分でない子どもの、気持ちを汲み取っている。	◎	◎
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことはを用いないようにしている。	◎	◎
		E 「できない」「やって」など言う子どもに対して、子どもの状況に応じて対応している。	◎	◎
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	◎
8	全体に気を配りつつ、特に遊びに入れない子どもへの働きかけをしている。		○	◎
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A 子ども同士の関係をより良くする様な、言葉かけをしている。	○	◎
		B 喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している。	○	◎
		C 年齢に応じた、社会的ルールを身につけるよう配慮している。	◎	◎
		D 子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場を設定している。	○	◎
10	A 保育士自身が楽しんで保育をしている。（楽しそうな表情ができる） B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。		○	○
			○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		○	○
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○	○
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが来ている。	○	○
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携の在り方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。（民生委員、健康推進課、幼稚園、子育て支援室など）	○	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	子どもの年齢や興味を考えたから、その時期に合った遊びを展開する。		所長印	所長印
自己評価	「また、しだい」「楽しかった」という声が聞かぬ嬉しかった。			

記入方法（◎とても良い、○良い、△配慮しましょう）

自己評価表 (以上児)

ねらい…「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前()	自己評価	
No.	内容		9月	3月
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が来ている。		◎	◎
2	指導計画の作成にあたっては、子どもの発達過程を踏まえ、生活の連続性、季節の変化等を考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらい及び内容を設定している。		○	○
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	○
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊べるよう配慮している。		◎	◎
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		○	○
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		○	○
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	◎	◎
		B 温かい言葉遣いで、穏やかに話している。	◎	◎
		C 自分の思いを表現する力が十分でない子どもの、気持ちを汲み取っている。	◎	◎
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことはを用いないようにしている。	○	○
		E 「できない」「やって」など言う子どもに対して、子どもの状況に応じて対応している。	◎	◎
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	◎	◎
8	全体に気を配りつつ、特に遊びに入れない子どもへの働きかけをしている。		○	○
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A 子ども同士の関係をより良くする様な、言葉かけをしている。	○	○
		B 喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している。	○	○
		C 年齢に応じた、社会的ルールを身につけるよう配慮している。	○	○
		D 子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場を設定している。	○	○
10	A 保育士自身が楽しんで保育をしている。(楽しそうな表情ができる)		◎	◎
		B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		○	○
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○	○
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが来ている。	○	○
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携の在り方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、幼稚園、子育て支援室など)	○	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	各々の子供の成長に応じて言葉かけや対応をしていく		 所長印  保育所長印	
自己評価	各々の子供の成長に応じて言葉かけや対応はできている時もあるけど、時もあると思う。			

記入方法 (◎とても良い、 ○良い、 △配慮しよう)

自己評価表（未満児）

ねらい・・・「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前()	自己評価	
No.	内 容		9月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		○	○
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		○	○
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	△
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育をしている。		△	○
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		○	○
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		○	○
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	○
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	○	○
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○	○
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことはばを用いないようにしている。	△	○
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○	○
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	○
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		○	○
9	「かわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	○	○
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	○	△
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○	○
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	○	○
10	A 子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力) B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)		○	○
			○	○
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		○	○
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○	○
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○	△
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	○	○
13	地域との連携のあり方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	○	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	子どもたちの思いを大切にしながら対応し保育していく。		所長印 若木 保育所長 若木 保育所長	
自己評価	子どもたちが甘えられる雰囲気を作ることができた。			

記入方法 (◎とても良い、 ○良い、 △配慮しましょう)

自己評価表 (保育児)

ねらい・・・「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前()	自己評価	
No.	内 容		9月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		◎	◎
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		◎	◎
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		◎	◎
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育をしている。		◎	◎
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		◎	◎
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		◎	◎
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	◎	◎
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	◎	◎
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	◎	◎
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことはばを用いないようにしている。	△	△
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	◎	◎
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	◎	◎
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		◎	◎
9	「かわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	◎	◎
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	◎	◎
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待つてあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	◎	◎
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	◎	◎
10	A 子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力) B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)		◎	◎
			◎	◎
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		◎	◎
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	◎	◎
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	◎	◎
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	◎	◎
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	◎	◎
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	◎	◎
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携のあり方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	◎	◎
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	◎	◎
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	◎	◎
目標	時間的・状況的に余裕が持てると制止や禁止のことはばが出てしまう。自分自身の気持ちの余裕を持てると子どもは接するにやわらかく接することができる。		所長印	
自己評価	全体的に意欲はできているが...と感じることが多い。しかし行動がうまくいっている部分が多い。と、毎日頑張っている。		保育士印	

記入方法 (◎とても良い、 ○良い、 △配慮しましょう)

自己評価表 (未育児)

ねらい・・・「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前()	自己評価	
No.	内 容		9月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のもった世話をしている。		◎	◎
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		◎	◎
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	○
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育している。		○	◎
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		○	◎
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		○	○
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	◎
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	○	◎
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○	◎
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことばを用いないようにしている。	○	○
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○	◎
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	◎
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		○	○
9	「かわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	◎	◎
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	◎	◎
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○	○
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	○	○
10	A 子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力)	◎	◎	
	B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	◎	◎	
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、囁託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		◎	◎
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○	◎
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○	○
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	◎	◎
13	地域との連携のあり方がわかる。	A 関係機関との連携のとおり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	○	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	個々の思いと向き合い、大事にして接することが出来るようにする。		所長印	
自己評価	子供達と接する時に「なるべくゆっくりと気持ちよく余裕を持って接することが出来るようにしたい。」		若木保 若木保 園長 園長	

記入方法 (◎とても良い、 ○良い、 △配慮しましょう)

自己評価表 (未満児)

ねらい・・・「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り、取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

保育所		名前()	自己評価	
No.	内 容		9月	3月
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		○	◎
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		○	◎
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		○	○
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育している。		○	○
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		○	○
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		○	○
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受け入れる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	○	○
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	○	○
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える(整理整頓)の努力をしている。	○	○
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことばを用いないようにしている。	○	○
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。(個々にあった手助け)	○	○
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	○	○
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		○	○
9	「かわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。(あやす・言葉がけをする・たしなめる)	○	○
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	○	○
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育むよう配慮している。	○	○
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	○	○
10	A 子どもが甘えられる雰囲気を持っている。(雰囲気を作る努力)	○	○	
	B 環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。(保健・衛生)	○	○	
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		○	○
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。	○	◎
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	○	○
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	○	○
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	○	○
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	○	○
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	○	○
13	地域との連携のあり方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。(民生委員、健康推進課、子育て支援室など)	○	○
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	○	○
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	○	○
目標	安心して過ごすことのできる保育とする。 笑顔で過ごすことのできる保育とする。		所長印 石木 保 育 園 長 石木 保 育 園 長	
自己評価	子どもとの関わりもでき良かと思ひ。			

記入方法 (◎とても良い、 ○良い、 △配慮しましょう)